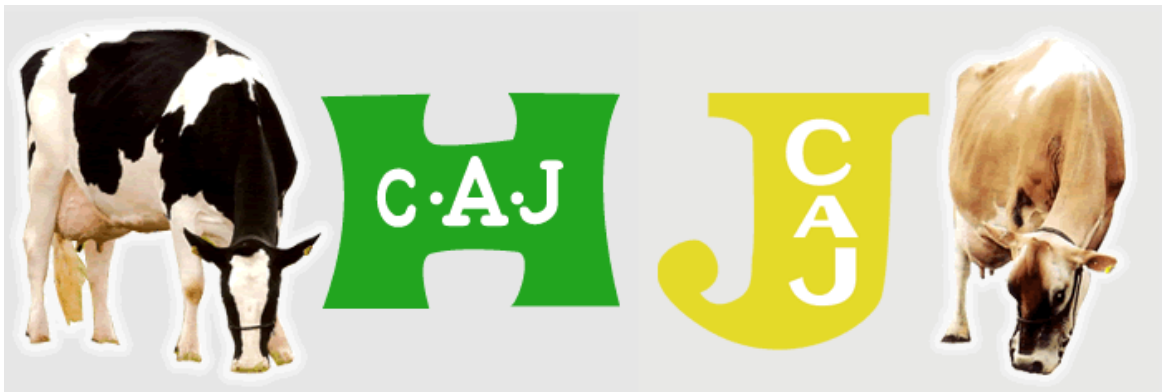


インターネットで授精報告する皆様へ

# 自動登録マニュアル

自動登録を円滑に実施するために



## (一社)日本ホルスタイン登録協会

TEL 03-3383-2501

FAX 03-3383-2503

〒164-0012 東京都中野区本町 4-38-13

Web <https://hcaj.or.jp>

Mail [hcaj@hcaj.or.jp](mailto:hcaj@hcaj.or.jp)



授精入力画面の  
直リンクはこちら⇒



## 自動登録を円滑に実施するために！

自動登録を行うためには、正確な授精報告と速やかな出生報告が不可欠です。そのためには、次の作業を必ず行っていただくようお願いします。

1. 日本ホルスタイン登録協会の Web サイトを利用して、授精の都度、授精記録を入力・送信してください  
→詳細は2ページをご覧ください
2. 子牛が生まれたら、速やかに個体識別耳標を装着し、家畜改良センターへ「出生報告」を届出てください  
→詳細は9ページをご覧ください
3. 子牛の希望名号、雌双子、赤白斑、異常斑紋、異性双子、虚弱体質、死亡したときなどは、出生報告後1週間以内に「自動登録実施農家連絡書」等で連絡してください  
→詳細は9ページをご覧ください
4. 子牛は母牛の所有者名義で登録されます。同一家族間で登録牛の所有者を変更するときは、「登録牛の同一家族への所有者変更届」に記入し、F a x で連絡してください  
→詳細は12ページをご覧ください
5. 事故になったときには「事故照会用紙」が届きます。事故内容を整備して返送してください  
→詳細は14ページをご覧ください

下記の牛は自動登録の対象にはなりません。従来どおり個々の登録申込みが必要ですのでご注意願います。

①受精卵移植(ET)による生産牛 ② 輸入牛 ③ 雄牛

1. 日本ホルスタイン登録協会のWebサイトを利用して、授精の都度、授精記録を入力・送信してください

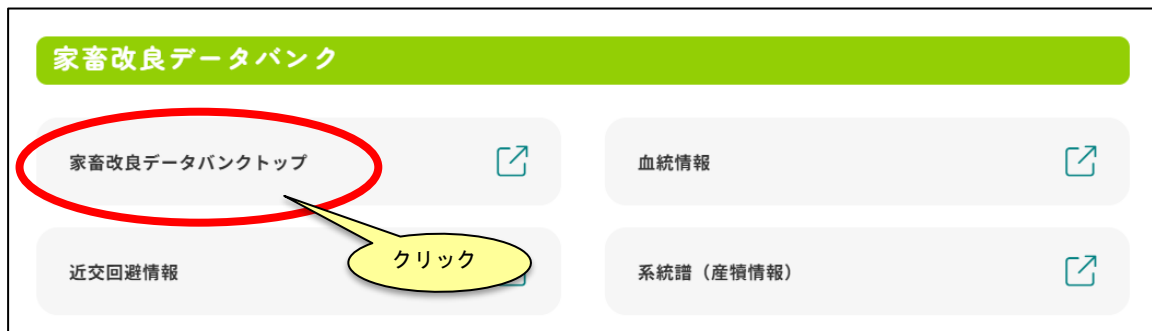
1) 日本ホルスタイン登録協会のWebサイトを開き、トップメニューの「情報」⇒「情報一覧」をクリックします。

【当協会Webサイトアドレス】

<https://hcaj.or.jp/>



2) 下図の「家畜改良データバンクトップ」をクリックします。



3) 家畜改良データバンクのトップページにある「会員情報」ボタンを押します。



- 4) ログイン画面で「農場コード」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンを押します。

家畜改良データバンク

■ ログイン画面

① 農場コード

② パスワード

ログイン状態を保持する

③ ログイン キャンセル 終了

農場コード  
パスワード  
を入力

- ① 農場コード：家畜改良センターに個体識別報告する際のコード(10桁)
- ② パスワード：10桁以内の数字（農場コードの下4桁、または事前に割り振られた数字）
- ・パスワードが不明の場合は、各都府県支部・承認団体にお問い合わせください
- ③ 「ログイン」ボタンを押してください
- ・入力内容を誤ったときは「キャンセル」ボタンを、終了するときは「終了」ボタンを押してください
  - ・ログイン状態を保持したい場合は「ログイン状態を保持する」にチェックを入れてから「ログイン」ボタンを押してください

- 5) 種別選択画面の「人工授精入力」ボタンを押します。

家畜改良データバンク 2014/8/27

■ 種別選択画面

人工授精入力

農家別登録牛情報

ログアウト 終了

クリック

- ・「ログアウト」ボタンを押すと、前画面（ログイン画面）に戻ります
- ・終了するときは、「終了」ボタンを押してください



【注意】

- 入力途中のままこの画面を 30 分間放置すると、ログアウトとなり、**入力したデータが消去**されてしまいます。  
作業途中でパソコンから離れるときは、「**一時保存**」ボタンを押してください。  
保存した内容は、再度「一時保存」ボタンを押すか、「送信」ボタンを押すまで保持されます。
- 一時保存データと画面上の入力データを**すべて消去する**場合は、「**クリア**」ボタンを押します。

② 入力後に、「確認」ボタンを押します。

登録番号や交配種雄牛の入力エラーがないかチェックされます。  
エラーがあるときは、**入力欄左下にエラーメッセージ**が表示され、その箇所が赤く表示されますので、修正して再度「確認」を押してください。  
入力内容を間違えた場合は、「訂正」ボタンを押してから入力し直し、再度「確認」ボタンを押してください。

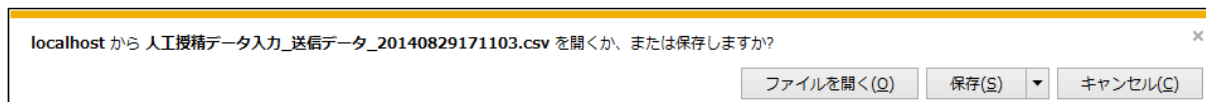
③ 入力エラーがなければ、「送信」ボタンを押します。

入力したデータが送信され、入力欄左下に「**人工授精入力完了しました**」というメッセージが表示されます。

④ 送信完了後、送信したデータの以下の項目を CSV 形式ファイル（Excel 等の表計算ソフトで利用可能）で保存することができます。

- 農場コード
- 獣医・授精師コード
- 登録番号(個体識別番号)
- 授精年月日
- 種雄牛種別（乳用牛は「1」、肉用牛は「2」）
- 交配種雄牛略号
- 交配種雄牛登録番号
- 種雄牛輸入元 CD（＝交配種雄牛の外国符号3桁）
- ラベル No（＝家畜人工授精用精液証明書番号）
- 授精・移植区分（授精は「0」、移植は「1」）
- 供卵牛番号
- 供卵牛輸入元 CD（＝供卵牛の外国符号3桁）
- 送信日時（＝授精記録を入力・送信した日時、西暦年月日時分秒の 14 桁）

データを保存する場合は、画面下部に下図のようなメッセージが表示されますので、適宜ご利用ください。



⑤ 授精データを続けて入力するときは、①～③の操作を繰り返し行います。

⑥ データ入力と送信が終わったら、「戻る」ボタンを押します。



7) 種別選択画面(3ページ参照)の「農家別登録牛情報」ボタンを押すと、下記のように現在の飼養牛(無登録牛も含む)の情報が表示され、**最終授精記録および授精履歴を確認**することができます。  
 なお、6)で入力した授精データがこの画面に表示されるのは、入力・送信した日の翌月曜日午前6時以降です。  
 また**授精記録の修正や削除**をすることもできます。

① 授精履歴を確認する場合は、「授精履歴」欄の「確認」ボタンを押します。

家畜改良データバンク

■ 農家別登録牛情報

農場コード	農場/団体名	住所	牛群検定コード	飼養頭数	登録頭数

ダウンロード 繁殖台帳印刷

通しNo.	品種	性別	個体識別番号	登録番号	登録日	血統濃度	生年月日	名号	父番号	母番号	登録所有者	最近分娩	牛群検定	産	最終授精記録	授精履歴		
1	ホルスタイン	雌	1E 37 13	17	2013-04-06	100%	2013-02-17	カト	55760 12	14		2017-04-01	0165	03	2017-06-24	JPS-456879	2018-03-30	確認
2	ホルスタイン	雌	1E 74 13	14	2014-01-11	100%	2013-11-22	ラルガチ	CAN 7892576 12	13		2016-12-15	0177	02	2017-05-31	7H11525	2018-03-06	確認
3	ホルスタイン	雌	1E 40 15	12	2016-04-23	100%	2016-04-02	レババ	54970 1E	25		-	5517	00	2017-05-30	507H1314	2018-03-05	確認
4	ホルスタイン	雌	14 72 14	2	2015-02-07	100%	2015-01-01	レーファン	USA 65395083 12	12		2017-09-02	0200	01	2017-05-29	JPS-456230	2018-03-04	確認
5	ホルスタイン	雌	14 34 14	14	2015-01-10	100%	2014-12-08	ガリアウ	54828 12	17		2017-02-18	0198	01	2017-05-24	7H11314	2018-02-27	確認
～省略～																		
68	ホルスタイン	雄	15 31	-	-	-	2017-10-25			14		-						
68	ホルスタイン	雄	15 15	-	-	-	2017-11-10			13		-						

見出しをクリックすると、その項目で並べ替えをします。  
 登録番号をクリックすると、血統情報検索のウィンドウを開きます。

戻る

② 授精年月日の降順で授精履歴が表示されます。

家畜改良データバンク

■ 授精履歴

個体識別番号

修正・削除	授精年月日	授精・移植	種雄牛種別	交配種雄牛	ラベルNo	供卵牛	入力・更新日	メッセージ
修正 削除	2017-06-11	AI	乳用牛	29H18025			2017-07-07 19:20:34	
修正 削除	2017-06-11	AI	乳用牛	29H18025			2017-07-07 19:20:34	
修正 削除	2017-06-11	AI	乳用牛	29H18025			2017-07-07 19:20:34	

戻る

③ 授精記録を修正または削除する場合は、該当データの「修正」または「削除」ボタンを押します。

**【修正する場合】**

修正する項目を入力し直して、「確認」ボタンを押し、エラーがなければ「送信」ボタンを押します。その後、「戻る」ボタンで前画面に戻ります。

家畜改良データバンク

■ 人工授精データ修正

農場コード 授精師コード

この授精記録を修正しますか？修正する場合は修正箇所を入力し、「確認」ボタンを押してください。  
 エラーがなければ「送信」ボタンを押してください。

登録番号 (個体識別番号)	授精年月日 (移植年月日)	授精・移植	種雄牛種別	交配種雄牛	交配種雄牛名号確認欄	ラベルNo	供卵牛
	2017年06月11日	授精	乳用牛	略号 登録番号 29H18025	JPN:日本	アス-12794 コトシ ET	JPN:日本

確認 送信 戻る

### 【削除する場合】

「送信」ボタンを押します。その後、「戻る」ボタンで前画面に戻ります。

登録番号 (個体識別番号)	授精年月日 (移植年月日)	授精・移植	種雄牛種別	交配種雄牛	交配種雄牛名号確認欄	ラベルNo	供卵牛
	2017年03月15日	授精	乳用牛	略号 登録番号 7H11525	JPN:日本	ヌカ-00DQ151349 ET	JPN:日本

④ 授精記録を修正または削除した後、以下の(a)～(c)のような場合は、**修正または削除の変更を**することができます。変更は、修正または削除を行った日の深夜3時まで可能です。

- (a) 修正した授精データを再度修正したい
- (b) 修正した授精データを元に戻したい
- (c) 削除した授精データを復活させたい

修正・削除	授精年月日	授精・移植	種雄牛種別	登録番号	ラベルNo	供卵牛	入力更新日	メッセージ
修正	2017-11-16	AI	乳用牛	55555			2017-12-06 15:33:04	この授精記録の修正を受け付けました
取消	2017-11-16	AI	乳用牛	test			2017-11-16 12:18:04	この授精記録の削除を受け付けました

- (a) 「修正した授精データを再度修正したい」場合、上図の「修正」ボタンを押すと、人工授精データ修正画面が表示されます。前項③と同様に、修正する項目を入力し直して、「確認」ボタンを押し、エラーがなければ「送信」ボタンを押します。その後、「戻る」ボタンで前画面に戻ります。
- (b) 「修正した授精データを元に戻したい」場合、上図の「取消」ボタンを押すと、下図のような人工授精データ修正取消画面が表示されますので、「修正取消」ボタンを押します。その後「戻る」ボタンで前画面に戻ります。

登録番号 (個体識別番号)	授精年月日 (移植年月日)	授精・移植	種雄牛種別	交配種雄牛	交配種雄牛名号確認欄	ラベルNo	供卵牛
	2017年11月28日	授精	乳用牛	略号 登録番号 55555	JPN:日本	キア7シ2511ヒ75149 ET	JPN:日本



- (c) 「削除した授精データを復活させたい」場合、上図の「取消」ボタンを押すと、下図のような人工授精データ削除取消画面が表示されますので、「削除取消」ボタンを押します。その後、「戻る」ボタンで前画面に戻ります。

家畜改良データベース

■ 人工授精データ削除取消

農場コード \_\_\_\_\_ 授精師コード \_\_\_\_\_

この授精記録を削除することを取消しますか？取消す場合は「削除取消」ボタンを押してください。

登録番号 (個体識別番号)	授精年月日 (移植年月日)	授精・移植	種雄牛種別	交配種雄牛	交配種雄牛名号確認欄	ラベルNo	供卵牛
	2017 年 11 月 16 日	授精	乳用牛	略号	登録番号 test	JPN 日本	JPN 日本

【注意】

修正または削除を行った日の深夜 3 時以降は以下のようなメッセージが表示され、修正または削除の変更を行うことはできません。このメッセージは翌月曜日午前 6 時まで表示されます。

再び修正する場合は、このメッセージの表示がなくなり、「修正」ボタンが再表示されるまでお待ちください。

削除した授精データを復活する場合は、改めて人工授精データ入力画面で入力し直してください。

家畜改良データベース

■ 授精履歴

修正・削除	授精年月日	授精・移植	種雄牛種別	交配種雄牛	ラベルNo	供卵牛	入力・更新日	メッセージ
	2017-11-28	AI	乳用牛	55555			2017-12-06 15:33:04	この授精記録の修正は受理済みですので、現在は変更できません。
	2017-11-16	AI	乳用牛	test			2017-11-16 12:18:04	この授精記録の削除は受理済みですので変更できません。

- ⑤ 農家別登録牛情報の以下の項目を CSV 形式ファイル（Excel 等の表計算ソフトで利用可能）で保存することができます。

品種（ホル=1、ジャ=2、他の乳用種=1 2）、性別（雄=1、雌=2）、個体識別番号、登録番号（登録牛の場合）、登録日、血統濃度、生年月日、名号、父番号、母番号、登録所有者、最近分娩、牛群検定牛コード、産次、授精年月日、種雄牛種別（乳用牛=1、肉用牛=2）、交配種雄牛略号、交配種雄牛登録番号、交配種雄牛外国符号、分娩予定日、ラベル No（=家畜人工授精用精液証明書番号）、授精・移植区分（授精=0、移植=1）、供卵牛番号、供卵牛輸入元 CD（=供卵牛の外国符号 3 桁）、獣医・授精師コード、入力・更新日（=授精記録を入力もしくは更新した日時、西暦年月日時分秒の 14 桁）

家畜改良データベース

■ 農家別登録牛情報

農場コード \_\_\_\_\_ 農場/団体名 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_ 牛群検定コード \_\_\_\_\_ 飼養場数 \_\_\_\_\_ 登録総数 \_\_\_\_\_

通し No.	品種	性別	個体識別番号	登録番号	登録日	血統濃度	生年月日	名号	父番号	母番号	登録所有者	最近分娩	牛群検定	産次	授精年月日	種雄牛	分娩予定日	授精履歴	
1	ホルスタイン	雌	1C	37	13	2	2013-04-06	100%	2013-02-17	オス		突七	2017-04-01	0165	03	2017-06-24	JPN-F55679	2018-03-30	確認
2	ホルスタイン	雌	1C	74	13	4	2014-01-11	100%	2013-11-22	オス		突七	2016-12-15	0177	02	2017-05-31	7H11525	2018-03-06	確認

「ダウンロード」ボタンを押すと、画面下部に下図のようなメッセージが表示されますので、適宜ご利用ください。

rg.liaj.jp から 農家別登録牛情報\_20141119130508.csv を開くか、または保存しますか？

## 2. 子牛が生まれたら、速やかに個体識別耳標を装着し、家畜改良センターへ「出生報告」を届けてください

- 1) 双子(または三つ子以上)は必ず全て同時に「出生報告」を届けてください。異性双子(または三つ子以上)の場合も同様です。
- 2) 牛の転入(導入、預託帰り)・転出(死亡、除籍)があったときは、速やかに「異動報告」を届けてください。
- 3) 出生報告が生後10ヶ月以上(ジャージーは1年以上)遅れた場合は、自動登録の超過料金が適用されます。

## 3. 子牛の希望名号、雌双子、赤白斑、異常斑紋、異性双子、虚弱体質、死亡したときなどは、出生報告後1週間以内に「自動登録実施農家連絡書」等で連絡してください

自動登録実施農家連絡書(記入例) ※当協会 Web「各種申込書」から印刷できます。

**自動登録実施農家連絡書**

この連絡書は希望名号・双子・毛色・登録申込延期等に使用するもので、出生報告後1週間以内にFAXにて連絡願います。

(一社)日本ホルスタイン登録協会登録部宛  
 FAX 03-3383-2503 連絡年月日 令和 7年 1月 1日  
 電話 03-3383-2501 県名 東京都 登録申込者 ホル協 太郎 農場コード 0333832501

1. 連絡欄 (耳標番号 B、出生報告年月日 C を記入し、該当する項目すべてを○で囲んで下さい)

耳標番号	1	2	3	4	6	7	8	9	0	出生報告年月日	令和 7年 1月 1日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子片方死亡	異性双子登録延期	虚弱体質登録延期	異性双子登録取消	虚弱体質登録取消	死亡登録取消	延期牛の登録申請	
希望名号	トレント マスター サマー RED フタゴ										

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	9	0	出生報告年月日	令和 7年 1月 1日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子片方死亡	異性双子登録延期	虚弱体質登録延期	異性双子登録取消	虚弱体質登録取消	死亡登録取消	延期牛の登録申請	
希望名号											

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	9	1	2	出生報告年月日	令和 7年 1月 1日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子片方死亡	異性双子登録延期	虚弱体質登録延期	異性双子登録取消	虚弱体質登録取消	死亡登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号												

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	9	2	3	出生報告年月日	令和 6年 12月 31日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子片方死亡	異性双子登録延期	虚弱体質登録延期	異性双子登録取消	虚弱体質登録取消	死亡登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号												

2. その他の連絡欄

E 1234567912は異性双子で登録延期したが、分娩したので登録して下さい 子牛個体識別番号1234567

1) 生まれた雌子牛について次の事柄に該当するときは、「自動登録実施農家連絡書」に記入して、**出生報告後1週間以内**に日本ホルスタイン登録協会にFaxで連絡してください。

※「自動登録実施農家連絡書」は、当協会 Web サイトの「各種申込書」からダウンロードして利用してください。または同ページにある「自動登録実施農家連絡書（入力用）」から直接内容を入力して、メールでの送信も可能です。（メールアドレス：jidou@hcaj.or.jp）

※インターネットでの出生報告と同時に希望名号が入力できる「補足情報報告システム」のご利用がお勧めです。詳細は別紙をご覧ください。

① 希望名号をつける場合（9ページ記入例のA）

- 「1.連絡欄」に雌子牛の耳標番号と希望名号を記入してください。
- 名号は「3名法」（母牛から1単語＋父牛から1単語＋独自の単語）を基本とし、単語間の空白、濁点、半濁点をそれぞれ1文字分として、特殊名号である「RED」「OC」「フタゴ」を含めて32文字以内とします。
- 同一牛群内での同一名号は避けてください。
- 1単語の文字数は15文字以内とします。
- 間違いやすい文字は区別がつくようにハッキリと記入してください。  
 (例)「ア」と「マ」、「シ」と「ツ」と「ミ」、「カ」と「ヤ」、「エ」と「コ」と「ク」など
- 下表の「命名上の取り決め」にしたがって命名してください。
- このほか相応しくない名号は、修正することがありますのでご了承ください。

[命名上の取り決め]

命名例	内容
ABCDE [注1]	名号の中に、英単語は2単語以内(OC、RED、ETは英単語として数えない)、全10文字まで使用できます。 ただし、カナ単語も2単語以上使用してください。
12345 [注1]	名号の中に、数字単語は2単語以内、全10文字まで使用できます。 ただし、カナ単語も2単語以上使用してください。
123RD HA5	数字と英文字の混在は、使用できます。
SWデー デーSW	英文字とカナ文字の混在は、使用できます。 「SWデー」は英単語扱い、「デーSW」はカナ単語扱いとなります(先頭文字がいずれかで扱いが決まります)。
ナンバー15	カナ文字と数字の混在は、使用できません。 「ナンバー 15」と空白を入れて命名されます。
4-55 A-B AB-12 [注2]	「-」ハイフンは数字間、英文字間、英文字/数字間でのみ使用できます。 文字間で一つまでとし、合計二つまで使用できます。
B, C	「,」コンマは使用できません。「B C」と空白を入れて命名されます。
B. C [注2]	「.」ドットは英文字間でのみ一つまでとし、合計二つまで使用できます。
I、II、III &、#、/、( )、 %、@、.	ローマ数字は使用できません。「1」「2」「3」と算用数字に変換されます。 記号は使用できません。
OC、RED、ET、GP、 VG、EX、オーシー、 レツド、イーテイー	特殊な意味を持つ単語は使用できません。
双子の「ツイン」	ツイン、TWINは使用できません。 双子の場合は名号末尾に「フタゴ」と命名されます。
双子の「1」「2」	数字は名号の先頭、または「フタゴ」の前に付けます。 「1…フタゴ」「2…フタゴ」、「…1 フタゴ」「…2 フタゴ」と命名されます。
双子の「A」「B」	英文字は「フタゴ」の前に付けます。 「…… A フタゴ」「…… B フタゴ」と命名されます。

[注1] 英単語と数字単語の双方を付与する場合は、名号の中で合わせて2単語以内とし、文字数は10文字以内とする。

[注2] ドットとハイフンの双方を付与する場合は、名号の中で合わせて2文字以内とする。ただし、1単語内での同時利用はできません。

② 赤白斑(RED)、異常斑紋(OC)の場合(9ページ記入例のB)

- ・「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「RED(赤白斑)」または「OC(異常斑紋)」を○で囲んでください。

本牛および母牛がホルスタイン種の場合、品種の毛色・特徴を備えているかを確認してください。

本牛および母牛は、正常な黒白斑または異常黒白斑(OC)、赤白斑(RED)とします。更紗毛(さらさげ)や白、黒又は赤一枚毛のものや、改良上排除すべき著しく生理機能を損ずる遺伝的的不良形質のあるものは登録できません。

③ 雌の双子(または三つ子以上)の場合(9ページ記入例のC)

- ・「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「雌双子」を○で囲んでください。
- ・片方が耳標装着前に死亡したときは、生きている方の子牛の耳標番号を記入し、「雌双子片方死亡」を○で囲んでください。片方が死亡した場合でも、登録の際には名号の末尾に「フタゴ」が付きます。
- ・雌の双子の片方が耳標装着後に死亡したため登録を取消したい場合は、死亡した方の子牛の耳標番号を記入し、「死亡登録取消」を○で囲んでください(9ページ記入例のF)。

④ 異性双子、虚弱体質、または遺伝子型検査の親子判定予定などで登録を延期する場合(9ページ記入例のD)

- ・異性双子の雌や虚弱体質で登録延期するときは、「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「異性双子登録延期」もしくは「虚弱体質登録延期」を○で囲んでください。
- ・異性双子の雌は、フリーマーチン検査でフリーマーチンでないと推定される、もしくは受胎確認(妊娠鑑定書必要)または分娩確認(分娩した子牛の個体識別番号要連絡)まで登録できません。
- ・子牛が遺伝子型検査(親子判定、A2検査など)のため登録延期するときは、「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「2.その他の連絡欄」にその旨を記入してください。

⑤ 分娩時に無形無心体や何らかの付随物があった場合

- ・雌牛が単子で生まれていても無形無心体や何らかの付随物があった場合はフリーマーチンの可能性があるため、異性双子と同様の扱いとなります。したがって、フリーマーチン検査でフリーマーチンでないと推定されたもの、もしくは受胎または分娩確認されたものに限り、単子として登録をします。
- ・「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「2.その他の連絡欄」にその旨を記入してください。

⑥ 同一発情期に2種類以上の精液を交配した場合

- ・「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「2.その他の連絡欄」に記入してください。
- ・正しい父牛を確定するために、遺伝子型検査による親子判定を行ってください。

- ⑦ 耳標装着後死亡牛、異性双子または虚弱体質などで登録を取消する場合(9ページ記入例のF)
- ・ 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「死亡登録取消」、「異性双子登録取消」もしくは「虚弱体質登録取消」を○で囲んでください。
  - ・ 但し、雌雄が同時に出生報告されている場合は、雌牛は登録を保留します。
- ⑧ 登録延期していた牛を後日登録する場合(9ページ記入例のE)
- ・ 「1.連絡欄」耳標番号を記入し、「延期牛の登録申請」を○で囲んでください。
  - ・ 但し、以下の場合は連絡がなくても、遺伝子型検査の結果を当協会を確認し、結果次第で登録を行います。
    - a) フリーマーチン検査でフリーマーチンでないと推定された場合
    - b) 親子判定の結果、正しい親子関係が判明した場合
- ⑨ 上記以外に連絡すべき内容があれば「2. その他の連絡欄」に記入してください。

※自動登録実施農家連絡書で報告した内容を変更/訂正するときは、内容を確認の上、新たに連絡書を作成し、報告年月日を記入して、再度F a xで連絡してください。

4. 子牛は母牛の所有者名義で登録されます。同一家族間で登録牛の所有者を変更するときは、「登録牛の同一家族への所有者変更届」に記入し、F a xで連絡してください

- 1) 子牛は、母牛の所有者名義で登録されます。導入牛は「自動登録申込書」において申請のあった方の名義となります。
- 2) 同一家族間であれば、登録牛の所有者を変更することができます。「登録牛の同一家族への所有者変更届」に必要事項を記入してあなたの都府県の当協会支部・承認団体まで送付願います。  
※「登録牛の同一家族への所有変更届」は、当協会 Web サイトの「各種申込書」からダウンロードして利用してください。



登録牛の同一家族への所有変更届（記入例）

登録牛の同一家族への所有者変更届			
下記登録牛の所有者を次のとおり変更したく、届け出ます。		①	令和 7 年 1 月 1 日
家畜個体識別センターに報告している農家コード		②	0 3 3 3 8 3 2 5 0 1
③	自動登録申込者名		ホル協太郎 ㊞
④	変更後の所有者名 <u>ホル協大介</u>	会員番号	3 6 0 0 2 1 2 3 2 4
	(家族に会員がいる場合)		
⑤	氏名 <u>ホル協花子</u>	会員番号	3 6 0 0 2 1 2 3 3 5
	氏名 _____	会員番号	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
⑥	支部・承認団体名 <u>東京都XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</u>		㊞
所有者を変更する牛			
(いずれかに○をつけて下さい。2. の場合は所有者変更希望欄に記入願います)			
⑦	① 所有牛全頭を変更希望(下記の表は記入不要)		
	2. 下記の所有牛のみ変更を希望		
変更を希望する牛(登録番号と個体識別番号が同じ場合は、個体識別番号を省略可)			
⑧	牛群検定コード	⑨ 登録番号	⑩ 個体識別耳標番号
			⑪ 生年月日

所有変更届の記入項目

- ① 届出年月日
- ② 家畜改良センターに報告している農場コード 10 桁
- ③ 自動登録申込者名と捺印
- ④ 変更後の所有者名と会員番号
- ⑤ 家族に会員がいる場合はその氏名と会員番号
- ⑥ 支部・承認団体名と団体印
- ⑦ 所有牛の(1)全頭または(2)一部を変更するか、○印をつける
- ⑧ 一部変更の場合は変更する牛の牛群検定牛コード(任意)
- ⑨ 登録番号
- ⑩ 個体識別耳標番号：登録番号と同じ場合は省略可
- ⑪ 生年月日：和暦

3) 自動登録では、登録牛の導入や同一家族間での名義変更の場合に、原簿(データ)上で所有者を変更できますので、従来の移動証明は不要で移動証明料金はかかりません。ただし、血統登録証明書に所有者の追記を希望する場合は、移動証明申込(有料)が必要です。



## 5. 事故になったときには「事故照会用紙」が届きます。事故内容を整備して返送してください

### 自動登録で事故になったときの事故照会用紙

<b>事故照会</b>		(一社) 日本ホルスタイン登録協会 日本ジャージー登録協会 〒164-0012 東京都中野区本町4丁目38番13号 TEL 03-3383-2501 FAX 03-3383-2503	
この申込みは下記の事故で保留となっています。至急調査の上、ご回答願います。 自動登録申込みの回答はFAXをご利用下さい。			
照会年月日 平成26年09月06日			
都道府県	東京都	団体名	中野本町酪農業協同組合
申込者 住所	東京都中野区本町4-38-13		
氏名	ホル協 太郎		
会員番号	36000-000-0-0		
申込種別 = <b>血統</b>	申込年度 = 2014	照会番号 = 18081-0000	<b>自動登録</b>
申込牛	父牛		
品種 ホルスタイン	登録番号		
耳標番号 1420192788	名号 *****		
名号	略号		
生年月日 26.06.06	母牛		
授精年月日	登録番号(耳標番号) 1303290699		
在胎日数 日	名号 赤キョウ プラウド グリス		
直近の子牛ID	生年月日 22.09.15		
生年月日	牛検コード 3600000-0702		
	牛検の分娩日		
<b>照会内容</b> 46 種雄牛登録番号・授精年月日を調査・確認願います。授精内容が確認できる書類(授精証明書、授精台帳等いずれも写し可)を送付願います(FAX可)。			
照会内容			
<b>回答欄</b> 回答年月日 _____ 回答者 _____ (印)			
署名する			
自家授精もしくは授精師と回答者が同一人物または同一所属団体の場合は、 下欄に記入することで授精証明書等の書類提出が省略できます。			
精液注入雌牛生年月日	年	月	日
精液注入年月日	年	月	日
精液注入時飼養者住所	(申込者と同じ)		
氏名			
家畜人工授精用 精液証明書番号			
種雄牛登録番号 または略号			
上記のとおり相違ありません。	年	月	日
自家授精 (右側省略)	獣医師・家畜人工授精師 所属団体 獣医師・家畜人工授精師名	号	

- 1) 事故になったときには、上図のような「事故照会用紙」が届きます。  
**照会内容を確認**し、必要な書類などを整備して、あなたの都府県の当  
 協会支部・承認団体まで返送してください。なお、回答欄には**回答年  
 月日と回答者の署名**をお願いします。

①授精報告がない、または交配種雄牛(略号または登録番号)の誤り  
正しい授精内容が確認できる書類(授精証明書、繁殖台帳などの写し)を  
添付してください。

## ② 在胎日数の矛盾

在胎日数が265日未満および296日以上の場合は、正しい授精内容が  
確認できる書類(授精証明書、繁殖台帳などの写し)を添付してください。

ただし、授精記録を確認した上で、在胎日数が260日~264日もしくは  
296日~300日の場合は、回答欄に「早産」または「遅産」と付記す  
れば、授精証明書などの添付は省略できます。

### 【①②の授精証明書等の添付を省略できる条件について】

次の(a)(b)に該当する場合は、事故照会用紙左下にある授精関係記入欄に必要  
事項を記入することで、授精証明書などの添付を省略できます。

(a)自家授精の場合

(b)人工授精師(または獣医師)と事故回答者が同一人物  
または同一所属団体である場合

## ③牛群検定との生年月日不一致

牛群検定に報告された母牛の分娩日と家畜改良センターへ報告された本牛  
の生年月日が異なる場合は事故照会を行います。

正しい生年月日と母牛を確認し、誤った報告を修正した上で、事故照会用  
紙に正しい生年月日を記入してください。

## ④前産の記録と本牛の出生が矛盾する場合

本牛の生年月日と母牛の前産の分娩日の間隔が短過ぎるなど矛盾がある場  
合は事故照会を行います。

家畜改良センターへの報告内容等に誤りがないかを確認し、誤った報告を  
修正した上で、事故照会用紙にその旨を記入してください。